

POWER FILE★ 1143



KBS京都報道特別番組 参議院議員選挙開票速報2016

二部構成でお届けする選挙特番。地元候補の声もオンエア。

7月10日(日)に投開票された、第24回参議院議員選挙。憲法改正や経済政策など、いくつかの争点とともに、選挙権年齢が18歳に引き下げられて初の国政選挙とあって、政治に対する若者の声にも注目が集まる選挙となりました。

KBS京都ラジオでは「KBS京都報道特別番組 参議院議員選挙開票速報2016」と題して、今回の選挙を二部構成の特別番組でお伝えしました。進行は森谷威夫アナ。解説には、ジャーナリストの関根英爾さんを迎えました。

21時から21時30分までは、開票速報と戦況分析をお送りする第一部を、22時30分から23時30分までは、国政の展望、今後の課題を探る第二部をオンエア。第二部では、当確となった地元候補者をスタジオに迎えて、今回の選挙戦を振り返りながら、日本の未来について議論を繰り広げました。

開票速報はもちろん、第一部では争点解説や戦況分析を。

2議席を4候補で争った京都選挙区と、1議席に3候補の滋賀選挙区。京都選挙区では、20時の投票締め切りとほぼ同時に、自民で現職の二之湯智氏と、民進・現職の福山哲郎氏が当確。特番オンエア



前のKBS京都ラジオでは、この情報を速報でお伝えしました。

21時に第一部がスタートすると、他の選挙区も含めて、これらの当確情報を発信。全国の票の動きを、海平和アナがお伝えしました。

選挙の経過を踏まえて、森谷アナと関根さんがスタジオトークを展開。関根さんは争点をおさらいしながら、与党優勢の経過について分析し、有権者の想い

を推察。一方で、選挙権年齢が引き下げられたものの伸び悩む投票率にもふれ、選挙への関心の薄さを指摘しました。

第二部では、京都選挙区で当確となった二候補が生出演。

京都選挙区で早々と当確となった二之湯氏、福山氏が、KBS京都ラジオのスタジオへ。第二部では、二候補に国政にかける意気込みを伺いました。

全国で着々と進む開票作業。第二部スタート時にはすでに、与党の勝利が確実となり、自身は早々と当選を決めながらも、堅い表情の民進・福山氏。滋賀をはじめ他の選挙区の動向を気かけながら、厳しい選挙戦を振り返りました。そして、現政権に迎合することのない野党の役割を改めて問い直し、健全な国政をめざしていきたいと語りました。



一方で、自民・二之湯氏は、時折笑みも浮かべる余裕の表情。3回目の当選で、初のトップ当選も確実視されている状況で、地方創世やエネルギー問題など、これまでの訴えを改めて語り、熱意をみなぎらせた。

随時、開票速報を織り交ぜながら、白熱するスタジオトーク。真実味を帯びてきた憲法改正問題にも踏み込み、日本の針路を予想しました。

また、激戦が繰り広げられていた滋賀選挙区は、23時過ぎにようやく決着。自民で新人の小鍬隆史氏が、当選確実となりました。最後まで議席を争った民進・現職の林久美子氏は破れ、ここでも自民の風を感じる結果となりました。

私たちの声を直接届ける貴重な機会である選挙。KBS京都ラジオではこれからも、地域の有権者に向けて、政治にふれ、社会を考える機会を提供していきます。